

# dicapac™ 取扱説明書 MODEL D1B

この度は「dicapac(ディカパック)」をお買い上げ頂き誠に有難うございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み頂き、正しくお使いください。

## ⚠️ ご使用前に必ずお読み下さい。

毎回ご使用前に必ず防水テストを行い、本品に異常がないことを確認してください。

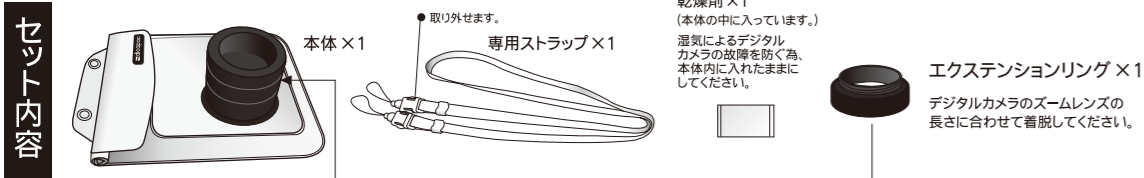
### 防水テストの方法

- ① 本体にティッシュを入れて、少し空気を入れジッパーを閉めて3回折り、着脱テープA及びBをしっかり閉じます。(使用方法 2 ~ 4参照)
  - ② レンズをしっかり閉めて、水中に没し、本体に両手で軽く圧力をかけてください。(軽く押してください)
  - ③ 本体表面から水が出ないことを確認してください。
- ※ 折り目部分から隙間に入った気泡がですが、本体内に水が入っていなければ問題ありません。  
ティッシュ及び内部を確認ください。
- ※テスト後は、本体及び開口部の水気を拭き取り、本体の入り口を下に向けて取り出してください。

## ● 本製品は30分までの防水試験を実施しており、長時間の水中使用を保証するものではありません。

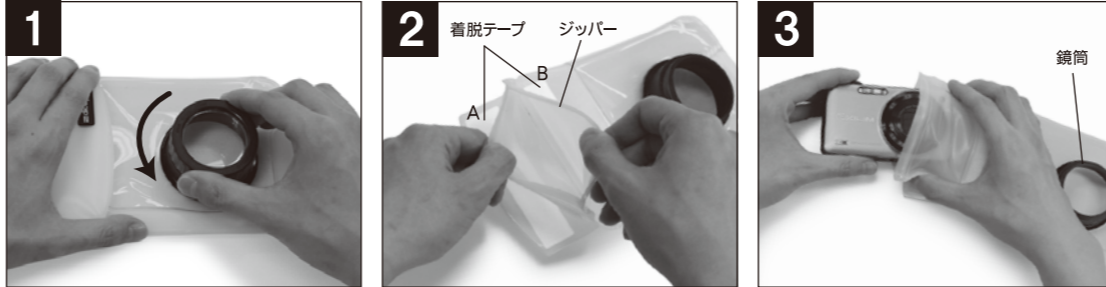
※試験内容…1.0気圧(水深10M相当)の常温水道水に静かに沈め30分放置しても浸水せず。

- 「dicapac(ディカパック)」は各メーカー・モデルで幅広く利用できるように設計された汎用ケースです。お使いのデジカメによっては、水中での使用時にボタン操作・撮影モードダイヤル操作等が使用できないこともございますのでご了承ください。
- 万一の浸水に備えて、ご使用前にデータのバックアップをしてください。
- 「dicapac(ディカパック)」の鏡筒によってケラレが生じる場合がありますのでご了承ください。望遠(ズーム)や広角を調整し撮影することによりケラレが無くなることもあります。
- ご使用前に着脱テープとレンズ部分がしっかり閉まっていることを確認してください。
- 高温・多湿・直射日光の当たる場所にデジタルカメラを入れたまま保管・放置しないでください。
- ご使用後は本体及び開口部の水滴を、乾いた布やティッシュで拭き取り、本体の入り口を下に向けてカメラを取り出してください。(水滴や塩分などがカメラ本体に付着すると故障の原因になります。)
- デジタルカメラの形状や大きさによっては出し入れづらいものがあります。
- 使用中の急な温度変化は結露を発生させる原因になります。
- レンズにキズがつく恐れがあるため、保管する場合はレンズ周辺に付いた砂やゴミ等を水で洗い流し、柔らかい布でしっかり取り除いてから保管してください。
- ストロボ(フラッシュ)撮影はできませんのでご了承ください。
- 天災等の不可抗力や、お客様のお取扱上の不注意、不当な修理・改造による故障・破損等は保証いたしかねます。
- デジタルカメラでの水中撮影及び砂・雨・ゴミからデジタルカメラを保護する以外の目的で使用しないでください。
- 本品は海水浴やプールでの簡易的な水中撮影を可能にした商品です。スキューバダイビング等の本格的な水中撮影には使用しないでください。
- 本品が先の尖った鋭い物等に引っ掛からないように十分ご注意ください。破損・浸水の恐れがあります。
- デジタルカメラ以外のものは入れないでください。
- 温泉など熱い湯に入れる場合の耐温については、お使いのデジタルカメラの取扱説明書に従ってください。
- 本品に強い衝撃を与えないでください。破損・浸水の恐れがあります。
- 本体内部に湿気が生じた場合は、本品のレンズ部分を開けて湿気を取り除いてください。
- お子様の手が届かないところに保管してください。
- 高温・多湿・直射日光の当たる場所への保管は避けください。
- 廃棄処分される場合はお住まいの自治体の指示にしたがい、処分・廃棄してください。
- 火気の近くでの保管は避けください。



## ご使用方法

本品は、海水浴やプールでの簡易的な水中撮影を可能にし、砂・雨・ゴミからカメラを保護する商品です。  
スキューバダイビング等の本格的な水中撮影には使用しないでください。



接着部に砂等の異物が無いことを確認し、本体のレンズをしっかり閉めてください。鏡筒とレンズ位置を合わせてカメラの電源を入れてください。

※ ご使用後は、本体及び開口部の水気を拭き取り、本体の入り口を下に向けて取り出してください。

※注…水中で使用した場合、2つ目の折り目部分まで少量の水分が侵入することがありますが異常ではありません。

## エクステンションリングについて

デジタルカメラのズームレンズの長さに合わせて着脱してください。

## メンテナンス方法

- 本体からデジタルカメラを取り出す場合は、本体及び開口部の水気をふき取り、本体の入り口を下に向けて取り出してください。(水滴や塩分などがカメラ本体に付着すると故障の原因になります。)
- 絶対にデジタルカメラを入れたまま放置・保管しないでください。ご使用後に毎回水洗いして、乾いた布で拭いてから、直射日光の当たらない風通しの良い場所で乾燥させてください。
- レンズ部分はキズがつきやすいので、使用中は十分ご注意ください。保管する場合はレンズ周辺に付いた砂やゴミ等を水で洗い流し、柔らかい布でしっかり取り除いてから保管してください。
- 化学ぞうきんを長時間接触させたままにすると、変色、変質する恐れがあります。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、灯油、アルコール、みがき粉などで拭かないでください。また殺虫剤、ヘアスプレーなどをかけないでください。変色、変質する恐れがあります。

## 製品仕様

品番：D1B  
重量：約 68g (乾燥剤・ストラップ含まず)  
材質：本体…PVC・TPU レンズ鏡筒…TPU、ABS樹脂 レンズ…ポリカーボネート  
乾燥剤…シリカゲル 専用ストラップ…ポリエステル  
サイズ：約105×160mm(ストラップの取付け部含まず)  
防水性能：10M (IPX8 防水試験合格)※ 原産国：韓国

※ 1.0気圧(水深10m相当)の常温水道水に静かに沈め、30分放置する試験を実施。  
長期間の水中使用を保証するものではありません。

## 保証とアフターサービスについて

持込修理

保証期間中に正常な使用状態(取扱説明書、本体・パッケージ貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合は無料修理をさせていただきます。その際、お買い上げの販売店または大作商事お客様センターにご連絡の上、製品と保証書をご持参もしくは送付ください。

※ 原則として本保証書はディカパック本体に対する保証であり、デジタルカメラ及びデータに対しては保証の対象外とさせていただきます。

dicapac™ 総発売元  
大作商事株式会社 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー12F  
TEL : 03-3539-4000 [www.daisaku-shoji.co.jp](http://www.daisaku-shoji.co.jp)

▶ ディカパックオフィシャルサイト [www.dicapac.jp](http://www.dicapac.jp)

2015 Daisaku Shoji Ltd.